

## 株主メモ

- |                    |   |           |   |
|--------------------|---|-----------|---|
| ■ 事業年度             | 毎年4月1日から翌年3月31日まで   | ■ 同取次所    | 住友信託銀行株式会社 全国各支店  |
| ■ 定時株主総会           | 毎年6月開催  | ■ 単元株式数   | 1,000株  |
| ■ 基準日              | 定時株主総会 毎年3月31日  | ■ 公告方法    | 電子公告<br>当社のホームページ<br>( <a href="http://www.tatsuta.co.jp">http://www.tatsuta.co.jp</a> ) に掲載する。 |
|                    | 期末配当金 毎年3月31日   |           | ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。                                      |
|                    | 中間配当金 毎年9月30日   |           |   |
|                    | そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  | ■ 上場証券取引所 | 東京、大阪   |
| ■ 株主名簿管理人          | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社  |           |   |
| ■ 同事務取扱場所          | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部  |           |   |
| (郵便物送付先)           | 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10<br>住友信託銀行株式会社 証券代行部   |           |   |
| (電話照会先)            | (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417<br>(その他のご照会) ☎0120-176-417  |           |   |
| (インターネットホームページURL) | <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a> |           |   |

**TATSUTA**  
ELECTRIC WIRE & CABLE CO.,LTD.

伝えたい・送りたい・めざしたい未来へ

## お知らせ

### 【株券電子化後の株式に関するお届け先およびご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届け先およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛をお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届け先は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株券電子化に係る買取請求および買増請求のお取り扱いについて】

株券電子化への移行に伴い、施行日前後における単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、一定期間受付できないこともございますので、お含みおきいただきますようお願いいたします。

## 第85期 中間事業のご報告

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

# 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長 藤江修也

## [営業の概況]

当中間期（第1および第2四半期）における我が国経済は、サブプライムローン問題に端を発する欧米諸国の金融システム不安定化による世界経済の減速化傾向を受け、景気の後退局面を迎えており、企業活動が停滞するなど厳しい状況となっております。

この間における我が国の銅電線需要量は、原材料価格が高水準で推移したことに伴う顧客の買い控えや、建設向需要の低迷等もあって自動車、電力向を除きほとんどの部門で前年同期に比べ減少いたしました。また、光ファイバケーブルの需要量も前年同期に比べ減少いたしました。

当中間期において当社グループは、厳しい環境下においてこれまで以上に効率的な生産・販売活動を推進し、事業運営全般にわたる競争力の強化に継続して取り組むなど、鋭意業績の向上に努めてまいりました。

その結果、連結売上高は、電力向の需要増および電子材料の販売量の増加等により、前年同期比7.8%増の26,175百万円、連結経常利益は前年同期比29.4%増の1,429百万円となり、連結中間純利益は前年同期比25.9%増の883百万円となりました。

## 電線・ケーブル事業

光ファイバケーブルは、景気の停滞化傾向もあって見込みどおりにFTTH化が進展せず、売上高が減少いたしました。銅電線については、販売量は減少したものの銅価格は上昇したため、電力関係需要の増加により売上高が増加いたしました。

その結果、電線・ケーブル事業の売上高は、前年同期比3.3%増の21,828百万円となりました。

## 電子材料・光部品他事業

タツタ システム・エレクトロニクス株式会社の電磁波シールドフィルム等をはじめとする電子材料の販売量増等により売上高が増加したため、電子材料・光部品他事業の売上高は、前年同期比37.5%増の4,407百万円となりました。

今後国内景気は、民間設備投資や企業業績にかげりが見られる中、停滞感を強めていくものと予測されます。電線業界においても、世界的な金融不安による投機的資金の撤退により、銅、原油等の原材料価格は下落傾向が続くものと予想されますが、金融の不安定化に伴う実体経済への影響が顕在化し、銅電線および光ファイバの需要はともに厳

しい状況が続くものと見込まれます。

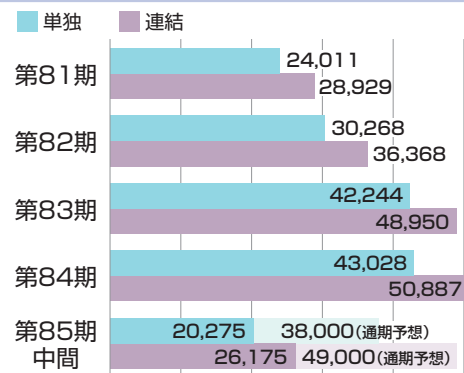
当社グループとしては、このような厳しさを増す環境下において、電線・ケーブル事業においては、一層の事業基盤の強化を図るべく、生産面での効率化に取り組んでおり、大阪工場の生産体制の強化および物流機能の整備を行っております。販売面でも、産業用ロボット向高力ケーブルの品揃えの充実、およびセミ被害対策光ドロップケーブル「せみタフ!®」をはじめとする新規商品の拡販を進めており、一定の成果をあげつつあります。

また、電子材料・光部品他事業において、タツタ システム・エレクトロニクス株式会社では、電磁波シールドフィルムの好調な需要に対応して、京都府福知山市に第2工場の建設を鋭意進めており、加えて機能性フィルムの新規商品の開発にも積極的に取り組んでおります。さらに、当社の光部品事業については、将来を見据え、拡大が見込まれるフォトエレクトロニクス市場へ向け、新設の光ファイバ加工品専用工場の充実・強化を図っております。

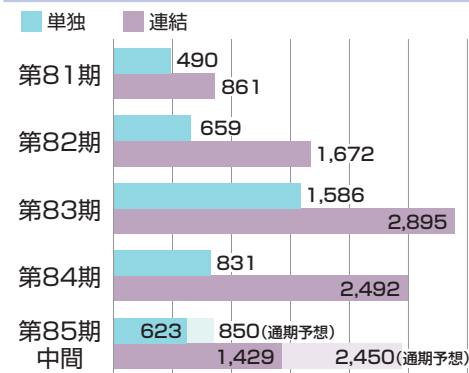
このような取り組みの中、当中間期における配当につきましては、1株当たり3円の配当を実施することといたしたく存じます。

株主各位の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

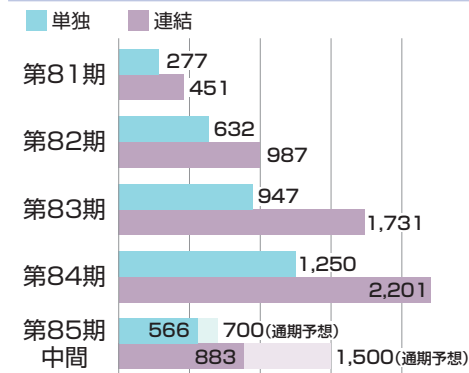
## 売上高 (単位: 百万円)



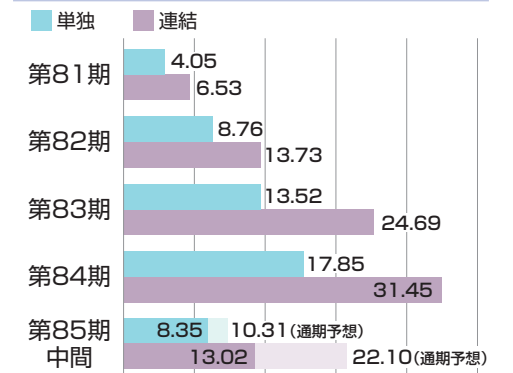
## 経常利益 (単位: 百万円)



## 中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



## 1株当たり中間(当期)純利益 (単位: 円)



# 財務諸表

## 中間連結財務諸表

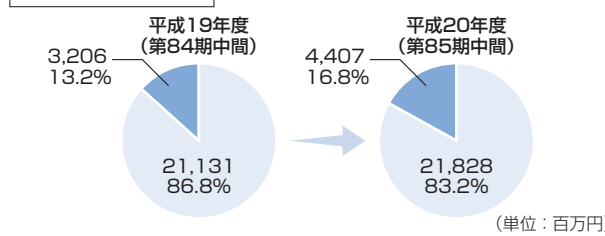
■中間連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当中間期末	前期末
	(平成20年9月30日現在)	(平成20年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	26,208	26,458
固定資産	9,143	9,633
有形固定資産	7,183	7,152
無形固定資産	219	262
投資その他の資産	1,740	2,218
資産合計	35,351	36,091
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,805	5,809
固定負債	2,207	2,613
負債合計	8,012	8,422
<b>純資産の部</b>		
株主資本	26,908	26,966
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,537	4,537
利益剰余金	16,603	16,198
自己株式	△ 907	△ 445
評価・換算差額等	429	702
その他有価証券評価差額金	429	702
純資産合計	27,338	27,668
負債・純資産合計	35,351	36,091

■中間連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)
売上高	26,175	24,273
売上原価	22,504	21,328
売上総利益	3,671	2,945
販売費及び一般管理費	2,306	1,908
営業利益	1,365	1,036
営業外収益	99	107
営業外費用	35	39
経常利益	1,429	1,104
特別利益	37	12
特別損失	13	52
税金等調整前中間純利益	1,453	1,064
法人税、住民税及び事業税	570	287
法人税等調整額	△ 0	75
中間純利益	883	701

■事業別売上高構成 (単位：百万円)



■中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,410	361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 606	△ 608
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 940	206
現金及び現金同等物の増減額	△ 137	△ 39
現金及び現金同等物の期首残高	836	615
現金及び現金同等物の中間期末残高	699	575

■中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで) (単位：百万円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年3月31日残高	6,676	4,537	16,198	△ 445	26,966	702	702	27,668
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△ 478		△ 478			△ 478
中間純利益			883		883			883
自己株式の取得				△ 462	△ 462			△ 462
自己株式の処分		0		0	0			0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額 (純額)					—	△ 272	△ 272	△ 272
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	404	△ 462	△ 57	△ 272	△ 272	△ 330
平成20年9月30日残高	6,676	4,537	16,603	△ 907	26,908	429	429	27,338

## 中間単体財務諸表

■中間単体貸借対照表 (単位：百万円)

科目	当中間期末	前期末
	(平成20年9月30日現在)	(平成20年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	22,046	23,052
固定資産	8,531	9,010
有形固定資産	5,711	5,949
無形固定資産	184	253
投資その他の資産	2,635	2,806
資産合計	30,577	32,063
<b>負債の部</b>		
流動負債	5,208	5,582
固定負債	2,059	2,531
負債合計	7,268	8,113
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,883	23,257
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,726	4,726
利益剰余金	12,388	12,300
自己株式	△ 907	△ 445
評価・換算差額等	426	691
その他有価証券評価差額金	426	691
純資産合計	23,309	23,949
負債・純資産合計	30,577	32,063

■中間単体損益計算書 (単位：百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)
売上高	20,275	20,639
売上原価	18,805	19,260
売上総利益	1,470	1,379
販売費及び一般管理費	1,250	1,159
営業利益	220	220
営業外収益	450	338
営業外費用	47	47
経常利益	623	511
特別利益	32	10
特別損失	12	48
税引前中間純利益	642	473
法人税、住民税及び事業税	49	△ 26
法人税等調整額	26	102
中間純利益	566	398

# 会社情報

## 会社概要

(平成20年9月30日現在)

- 社名 タツタ電線株式会社
- 本店所在地 大阪府東大阪市岩田町2丁目3番1号
- 設立年月日 昭和20年9月28日
- 資本金 6,676,227,664円
- 従業員 連結 568名  
単体 347名
- 事業内容 電線・ケーブル、電線・ケーブル  
付属品、電子材料（導電性ペースト、ボンディングワイヤ、防錆材）、機器システム製品（防災関連、病院・薬局合理化関連）、光関連製品（コネクタ端末加工、カプラ）の製造販売及び環境分析事業等その他のサービス事業



本社・大阪工場



京都工場

## 役員

(平成20年9月30日現在)

- 代表取締役社長 藤江 修也
- 専務取締役 江角 健一
- 専務取締役 木村 政信
- 常務取締役 平井 洋行
- 取締役 橋本 和博
- 取締役 北島 秀樹
- 取締役 松本 一郎
- 取締役 檀上 芳郎
- 常勤監査役 岩田 聖二
- 監査役 占部 知之
- 監査役 村山 誠一

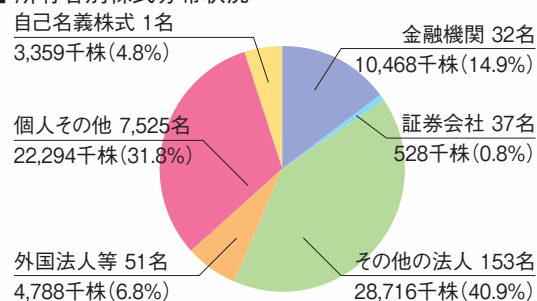
## 株式の状況

(平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 156,693,000株
- 発行済株式の総数 70,156,394株
- 株主数 7,799名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
新日鉱ホールディングス株式会社	22,739	32.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,600	5.13
タツタ電線株式会社(自己株式)	3,359	4.79
住友金属鉱山株式会社	1,921	2.74
日本興亜損害保険株式会社	1,572	2.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,478	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	1,359	1.94
シービーエヌワイエフイーインターナショナルキャップパリュエポトフォリオ	1,146	1.63
個人株主A	1,001	1.43
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	989	1.41

### 所有者別株式分布状況



### ホームページ



アドレス <http://www.tatsuta.co.jp>

## TOPICS トピックス

### セミ被害対策光ドロップケーブル「せみタフ!®」等を Communic Asia2008(シンガポール)に出展

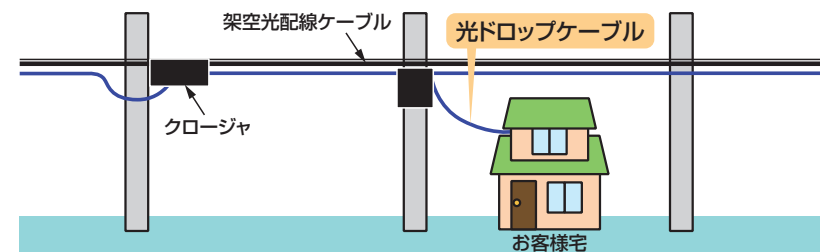
去る6月17～20日にシンガポールで開催された「Communic Asia2008」に当社から、セミ被害対策光ドロップケーブル（注）「せみタフ!®」と鳥獣害被害対策のために金属管被覆を施した光ケーブル「TAFT（TATSUTA FIBER TUBE）ケーブル」を出展いたしました。

特に「せみタフ!®」は、光ドロップケーブルに被害を与えるとされる「クマゼミ」自身の生態を研究。刺されることを前提としてセミ被害発生の確率を下げるのではなく、全くコンセプトが異なる“刺されないこと”を目的として開発されたユニークな製品で、昨年より販売を開始し、好評を博しております。



「せみタフ!®」

(注) 光ドロップケーブルとは：ブロードバンド（大容量・高速）通信を各家庭に供給するため、各家庭へ光ファイバを引き込む際に使用される引き込み用ケーブルのこと。



### 機能性フィルム新工場建設順調



新工場完成予想図

タツタ システム・エレクトロニクス(株)では、導電機能性フィルムの好調な需要に対応し、安定した供給体制を確立することとして、当社京都工場の敷地内に新工場の建設を鋭意進めております。建設は当初の予定どおり本年12月竣工で順調に進んでおり、新工場完成以降における同社機能性フィルム製造能力は倍増となる見込みです。